

氏名 \_\_\_\_\_

令和3年11月29日実施 北海道運輸局（共通）

法令試験問題

解答用紙

第1問

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	

第2問

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

# 令和3年11月29日 北海道運輸局法令試験問題

(共通)

## 【注釈】

試験問題中「個人タクシー事業」等の語句の意味は、それぞれ次のとおりとする。

- ◆「個人タクシー事業」・・・一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシー）
- ◆「タクシー」・・・・・・・・一般乗用旅客自動車運送事業用自動車

<第1問> 次の1～35の各文章について正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答欄に記入して下さい。

1. 道路運送法で「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいいます。
2. 道路運送法では、一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業を一般乗用旅客自動車運送事業と規定しています。
3. タクシーの運賃料金メーター器が故障したため新しいメーター器に変更する場合、運賃及び料金の変更認可の手続きが必要になります。
4. 道路運送法の規定では、運賃又は料金の割り戻しはやむを得ない事由があっても禁止されています。
5. 事業者は、運送の申込みを受けた順序により、旅客の運送をしなければなりません。が、急病人を運送する場合その他正当な事由がある場合はこの限りではありません。
6. 事業用自動車の車庫を営業所から1.5km以内の場所に賃貸で確保していた個人タクシー事業者が、自己所有の自宅を主たる事務所及び営業所としている場合、当該自己所有地内に車庫の位置を変更するときは、事業計画変更の手続きは必要ありません。
7. 道路運送法において一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な差別的取扱いをしてはならないことが規定されていますが、個人タクシー事業者はその適用が除外されます。
8. 一般旅客自動車運送事業者は、その名義を他人に当該事業のため利用させてはなりません。

9. 一般乗用旅客自動車運送事業者が道路運送法に規定する事業用自動車の使用停止処分を受けた場合には、自動車登録番号標の領置を受けるべきことを命ぜられることがあります。個人タクシー事業者に限っては適用されません。
10. 道路運送法に規定されている一般乗用旅客自動車運送事業の許可申請書の事業計画には、自動車車庫の位置及び収容能力等について記載することになってはいますが、営業区域については記載する必要はありません。
11. 道路運送法に規定する一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受の手続きを行う場合、その申請書には譲渡価格を記載する必要があります。
12. 事業の廃止をしたときは、道路運送法に規定する手続きが必要ですが、この際、提出する届出書には「廃止する理由」を記載する必要はありません。
13. 個人タクシー事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければなりません。
14. タクシー事業者は、旅客の請求に応じ運賃又は料金の額を記載した領収証を発行した場合、その発行枚数を乗務記録に記録しなければなりません。
15. 行き先を告げることもできない泥酔者であって、他の旅客の迷惑となるおそれのある者に対しては、運送の引受けを拒絶することもできます。
16. タクシー事業者は、旅客を運送中に事故により運行を中断したときは、当該旅客を出発地まで送還するなどの適切な処置により旅客を保護しなければなりません。
17. 乗務記録の保存期間は6ヶ月間となっています。
18. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に当該事業者の氏名又は名称を掲示しなければなりません。
19. 個人タクシー事業者は、タクシー車両を常に清潔に保持するほか、毎月少なくとも1回清掃して、その旨を乗務記録に記録しなければなりません。
20. 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、道路運送車両法の規定による日常点検をし、又はその確認をしなければなりません。

21. タクシー運転者は、タクシーの故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させれば、列車に対し適切な防護措置をとる必要はありません。
22. 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、その服装について特に規定はありません。
23. 個人タクシー事業者の場合、1年間に乗務する日数を予め定め、行政庁に届け出なくても運行できます。
24. 旅客自動車運送事業者は、事業年度の経過後、百日以内に「輸送実績報告書」の提出が義務づけられています。
25. 旅客自動車運送事業等報告規則の規定では、輸送実績報告書の事故件数については、自動車事故報告規則に基づく自動車事故報告書を提出すれば記載する必要はありません。
26. 一般乗用旅客自動車運送事業の標準運送約款には、天災により運行を中止したことによって旅客が受けた損害についても、事業者が賠償責任があることが規定されています。
27. 個人タクシー事業者が許可期限を更新しようとする場合、当該許可期限が満了する日以前の地方運輸局長が定める日までに申請書を提出しなければなりません。
28. 個人タクシー事業者が、その事業を60日間休止した場合には「運転日報」にその旨を明記することにより、道路運送法第38条第1項の規定による「事業の休止届出書」を提出する必要はありません。
29. 身体障害者割引及び遠距離割引の割引条件に該当する場合は重複して適用するものとしませんが、身体障害者割引及び知的障害者割引の割引条件に該当する場合は割引の重複はできません。
30. 個人タクシー事業者が、営業のために乗務するときに車内に表示しなければならないのは、「個人タクシー事業者乗務証」です。
31. 道路運送車両法は、道路運送車両に関し、安全性の確保を図ることを目的の一つとしています。

32. 自動車の所有者の変更の場合、新所有者は、その事由があった日から30日以内に道路運送車両法の規定に基づく移転登録の申請をしなければなりません。
33. 事業用自動車の使用者は、道路運送車両法の規定に基づき三ヶ月ごとに当該自動車の定期点検整備を行わなければなりません。
34. タクシー車両の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から1年間と定められています。
35. 個人タクシー事業者は、業務中に疾病によりタクシーの運転を継続することができなくなる自動車事故を引き起こした場合、死傷者が生じていなければ自動車事故報告書を提出する必要はありません。

<第2問> 次の法令の〔 〕にあてまる語句を下欄のア～ソより選択し、別紙の解答欄にその「記号」を一つを記入して下さい。  
なお、記号を重複した場合は、無効（不正解）といたします。

【旅客自動車運送事業運輸規則】

（応急用器具等の備付）

第四十三条 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に応急修理のために必要な器具及び〔 ① 〕を備えなければ、当該自動車を旅客の運送の用に供してはならない。ただし、運送の途中において当該自動車に〔 ② 〕が発生した場合に、これらの器具及び〔 ① 〕を容易に供給することができるとき、又は旅客の運送を容易に〔 ③ 〕することができるときは、この限りでない。

2 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車踏切警手の配置されていない踏切を通過することとなる場合は、当該自動車に〔 ④ 〕、赤色合図灯等の〔 ⑤ 〕を備えなければ、旅客の運送の用に供してはならない。

- |          |        |          |
|----------|--------|----------|
| ア 勧告     | イ 清掃施設 | ウ 故障     |
| エ 部品     | オ 点呼   | カ 手数料    |
| キ 条件     | ク 赤色旗  | ケ 事業報告書  |
| コ 点検整備   | サ 指導   | シ 非常信号用具 |
| ス 運行管理規程 | セ 継続   | ソ 危険物    |

令和3年11月29日実施 北海道運輸局（共通）

法令試験問題模範解答

※ この模範解答は運輸局が公式に発表したものではなく、日個連東京都営業協同組合組織維持対策室にて判断・作成したものです。運輸局の見解とは異なる場合もあり得ますので、予めご了承下さい。

第1問

1	○ 運2	2	× 運3	3	× 運9-3	4	○ 運10	5	○ 運14
6	× 運15	7	× 運30	8	○ 運33	9	× 運41	10	× 運施4
11	○ 運施22	12	× 運施25	13	○ 輸3	14	× 輸25	15	○ 輸13
16	○ 輸18	17	× 輸25	18	○ 輸42	19	× 輸25+44	20	○ 輸50
21	× 輸50	22	× 輸50	23	○ 規定なし	24	× 報告2	25	× 報告様式
26	× 約款9	27	○ 期限更新	28	× 期限更新	29	○ 運賃制度	30	○ 特46
31	○ 車1	32	× 車13	33	○ 車48	34	○ 点検4	35	× 事故2+3

第2問

①	エ	②	ウ	③	セ	④	ク	⑤	シ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 新型設問はありません。
- 12 は法改正前の表現ですが、どのみち×ですからまあいいかな、と。